

令和7年度
公立大学法人三重県立看護大学
業務実績報告書 資料 目次

〈添付資料〉

中期目標(数値目標)に対する実績一覧	1
中期目標(数値目標)に対する未達成項目について	2

〈補足資料〉

【21101】	
入学者選抜方法の点検 参考データ	3

〈参考資料〉(別添)

- 1 2026大学案内(三重県立看護大学、大学院)
- 2 2025学生便覧(三重県立看護大学)
- 3 2025大学院学生便覧(三重県立看護大学大学院)
- 4 2025シラバス(看護学部看護学科)
- 5 2025シラバス(大学院看護学研究科看護学専攻)
- 6 地域交流センター年報 令和7年度 Vol. 28(※)
- 7 地域交流センター 令和7年度講師派遣のご紹介
- 8 MCN REPORT Vol. 63~Vol. 64
- 9 MCN REAL

※ 5月29日(金)納品予定のため、納品後に送付

公立大学法人三重県立看護大学中期目標(数値目標)に対する実績一覧

指標名	第三期中期目標期間								基準値	備考
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	合計			
II-1 教育に関する目標										
看護師国家試験合格率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	98.8	
	実績値	99.0	99.0	98.1	100.0	96.7		-		
保健師国家試験合格率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	91.6	
	実績値	96.0	98.0	99.0	100.0	92.4		-		
助産師国家試験合格率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	98.2	
	実績値	100.0	90.9	100.0	100.0	100.0		-		
看護師国家試験合格者数(人)	目標値	95	95	95	95	95	95	-	99.0	
	実績値	98	98	101	96	89		-		
保健師国家試験合格者数(人)	目標値	95	95	95	95	95	95	-	91.6	
	実績値	95	97	102	96	85		-		
助産師国家試験合格者数(人)	目標値	10	10	10	10	10	10	-	10.8	
	実績値	10	10	10	10	8		-		
県内就職率(%)	目標値	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	-	51.4	県内への看護職就職者数/就職者数
	実績値	62.5	55.7	57.4	54.3	57.5		-		
修士学位取得者数(人)	目標値	8	8	8	8	8	8	-	5.6	研究科での学位取得者数
	実績値	12	10	3	7	11		-		
II-2 研究に関する目標										
競争的研究資金申請率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	99.3	申請(継続含む)教員数/在職教員数
	実績値	97.9	100.0	100.0	100.0	100.0		-		
外部研究資金採択率(率)	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	52.4	科学研究費補助金等の外部研究資金の採択率
	実績値	50.0	56.9	59.2	58.2	51.1		-		
III 社会・地域貢献に関する目標										
看護職者を対象とした講座等の開催数(回)	目標値	100	100	100	100	100	100	-	100	看護職者を対象とした専門講座等を開催した数
	実績値	123	130	175	145	142		-		
県民向け講座等の開催数(回)	目標値	96	96	96	96	96	96	-	96	県民が参加可能な講座等を開催した数
	実績値	97	131	126	133	100		-		
学術研究団体等のさまざまな主体の活動に参画した数(人)	目標値	48	48	48	48	48	48	-	48	県内外の学術研究団体の役員や行政等の審議会委員等に就任した教員の延べ人数
	実績値	58	63	66	64	55		-		
IV 大学運営に係る環境整備に関する目標										
学生アンケートにおける学生の満足度(%)	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	-	79.6	学生アンケートによる大学生生活の支援に対する満足度
	実績値	97.1	96.3	97.8	97.7	98.4		-		
V 的確な業務運営の実施および業務改善に関する目標										
中期目標期間中の改善事例件数(件)	目標値	-	-	-	-	-	-	10	1.6	中期目標期間中に学生や教職員から要望を受け改善に取り組んだ事例の総数
	実績値	3	2	3	2	2		-		
VI 財務内容の改善に関する目標										
中期目標期間中の法人の自己収入額(千円)	目標値	-	-	-	-	-	-	143,000	165,532	中期目標期間中の授業料、入学金を除く自己収入総額
	実績値	34,872	50,006	46,077	38,014			-		
VII 大学教育の質保証および情報の公開・発信に関する目標										
自己点検・評価結果に基づく改善率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100	前年度の課題の解決に向けての取組の実施割合
	実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		-		
自己点検・評価の実施状況(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	-	1	自己点検・評価の実施回数
	実績値	2	1	1	1	1		-		

中期目標（数値目標）に対する未達成項目について

指 標 名	令和7年度		理 由 等
	目標値	実績値	
看護師国家試験合格率 （%）	100.0	96.7	<p>令和7年度の看護師国家試験の合格率は96.7%（92名中89名合格）であったが、全国平均（94.1%）は上回る結果となった。</p> <p>国家試験対策として、看護師模擬試験は3年次の低学年用模試を含めて6回の試験を実施した。また、図書館で閲覧できる国家試験対策用書籍を増冊するとともに、国家試験情報コーナーで学外での国家試験対策講座などを案内した。さらに、専門支持領域の教員が生化学・栄養学・薬学の補講を行ったり、模擬試験の成績不振者に対しては、卒業研究ゼミ担当教員が中心となって個別指導を実施したほか、国家試験に関する支援メールを定期的送信し、学生への意識づけと情報提供を行った。</p> <p>令和8年度においても、卒業研究ゼミ担当教員による国家試験に向けた学生への働きかけや補講対応を継続して実施する。また、4月のガイダンスにおいて、先輩学生が実践した有効な学習方法を紹介することで、国家試験に対する意識づけを早期から図る。さらに、講義室近くに国家試験対策用の情報提供棚を設置し、学習資料や関連情報を提示することで、学生が主体的に国家試験対策に取り組み、早期から学習を開始できるように支援していく。</p>
保健師国家試験合格率 （%）	100.0	92.4	<p>令和7年度の保健師国家試験の合格率は92.4%（受験者92名中85名合格）で、前年度と比べて7.6%低下したものの、全国平均（89.9%）は上回る結果となった。なお、令和7年度の全国平均の合格率については過去5年間で最も低かったことから、試験の難易度が高かったと推測される。</p> <p>国家試験対策としては、保健師・看護師統合カリキュラムにおいて、看護師国家試験を優先し保健師国家試験対策の取組が遅れないよう意識づけを行うことを継続したほか、専門領域の教員がクラス全体や専攻課程の学生に向けての補講・面談、さらに保健師国家試験に関する領域教員からの定期的な支援メール送信を行い、学生への意識づけを図った。</p> <p>また、保健師模擬試験を計3回実施したが、直前の模擬試験では合格圏内と判断される結果であった学生のうちにも不合格者が認められた。このことから、模擬試験結果のみを基準とした支援では十分とはいえず、国家試験本番まで継続した、より細かいな支援体制の必要性が明らかとなった。</p> <p>これを踏まえ、令和8年度においても、看護師および保健師の両国家試験を受験するという自覚を早期から持たせさせる取組を継続するとともに、これまで、模擬試験結果を基に、卒業研究担当教員（チューター）が声掛け等の支援を行ってきたが、今後は模擬試験結果のみに依存することなく、さらに卒業研究終了後も定期的な関わりを継続し、学生一人ひとりの状況に応じた支援を行っていく。</p>
看護師国家試験合格者数 （人）	95	89	令和7年度卒業生で国家試験を受験した学生数は、留年や退学等により92名となったため、合格者数も未達成となった。
保健師国家試験合格者数 （人）	95	85	令和7年度卒業生で国家試験を受験した学生数は、留年や退学等により92名となったため、合格者数も未達成となった。
助産師国家試験合格者数 （人）	10	8	<p>助産師課程においては、4年次に実施する助産学実習で「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に定められている分岐取扱回数（学生1人あたり約10例）を確保する必要があることから、最終的に4年次科目の履修可能者は10名程度としていく。</p> <p>助産師課程を希望する学生は、2年次後期より助産関連科目の履修を開始し、各学年に設定された先修科目要件を満たしながら、段階的に必要単位を修得していく体制としている。各学年でのオリエンテーションおよびガイダンス、ならびに母性看護学専門科目を通して、助産師の役割や専門性について具体的にイメージできるように情報の提供と、学修指導を行った。その結果、助産関連科目の履修者は2年次後期で34名、3年次後期で20名であった。これらの履修者のうち所定の要件を満たした8名が最終的に4年次において助産師課程に進んだ。8名全員がその後の課程を学修し、令和7年度助産師国家試験の受験資格を得るとともに、助産師国家試験に合格した。</p> <p>今後引き続き低学年の段階から、助産師課程選択を希望している学生や選択に迷っている学生に対して、より一層きめ細かな学修支援を行っていく。</p>

【入学者選抜方法の点検】参考データ

現行の入試制度による入学者（令和4年度以降の入学者）累積 GPA 平均値は次のとおり。

学校推薦型選抜（4 学年 112 名）：2.70

地域推薦型選抜（4 学年 23 名）：2.63

指定校推薦型選抜（3 学年 9 名）：2.90

東紀州地域指定校推薦型選抜（4 学年 7 名）：2.68

前期日程入試【一般枠】（4 学年 172 名）：2.56

前期日程入試【地域枠】（4 学年 20 名）：2.47

後期日程入試（4 学年 41 名）：2.70